



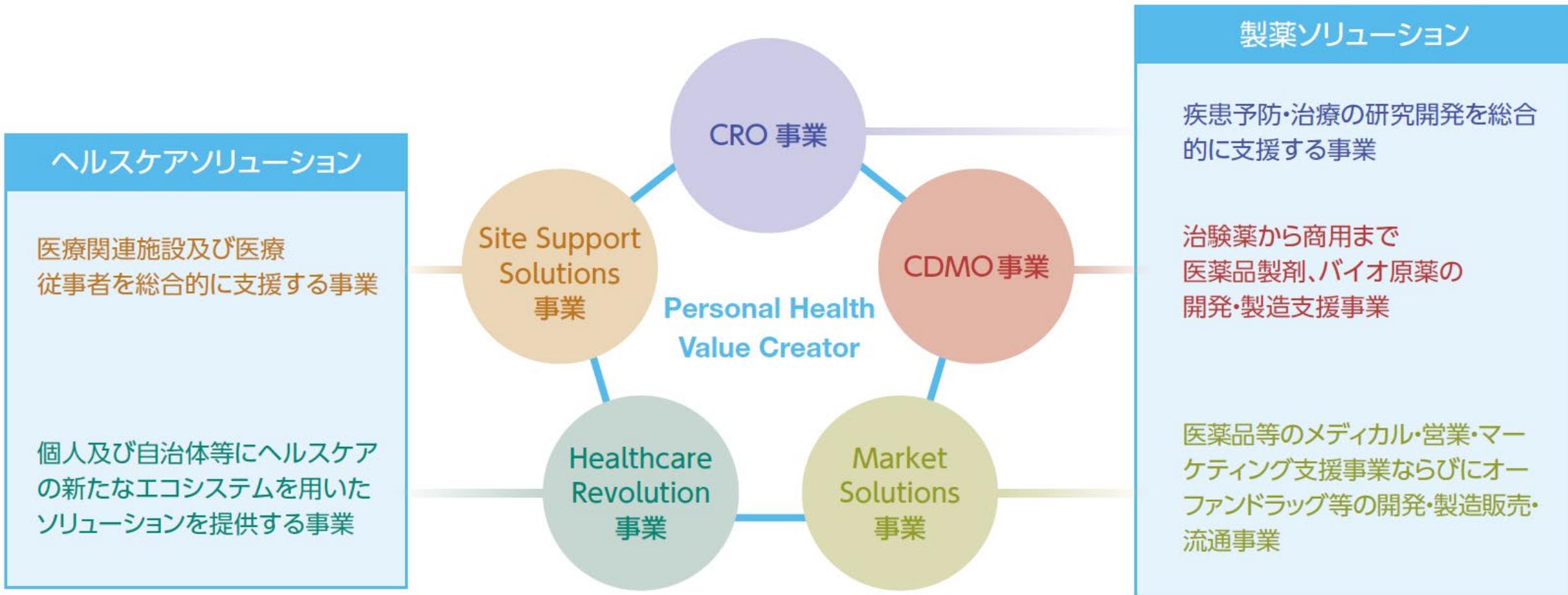
# 2022年9月期 第2四半期 決算概要

(2021年10月1日～2022年3月31日)

シミックホールディングス株式会社

2022年4月28日

# グループ事業内容

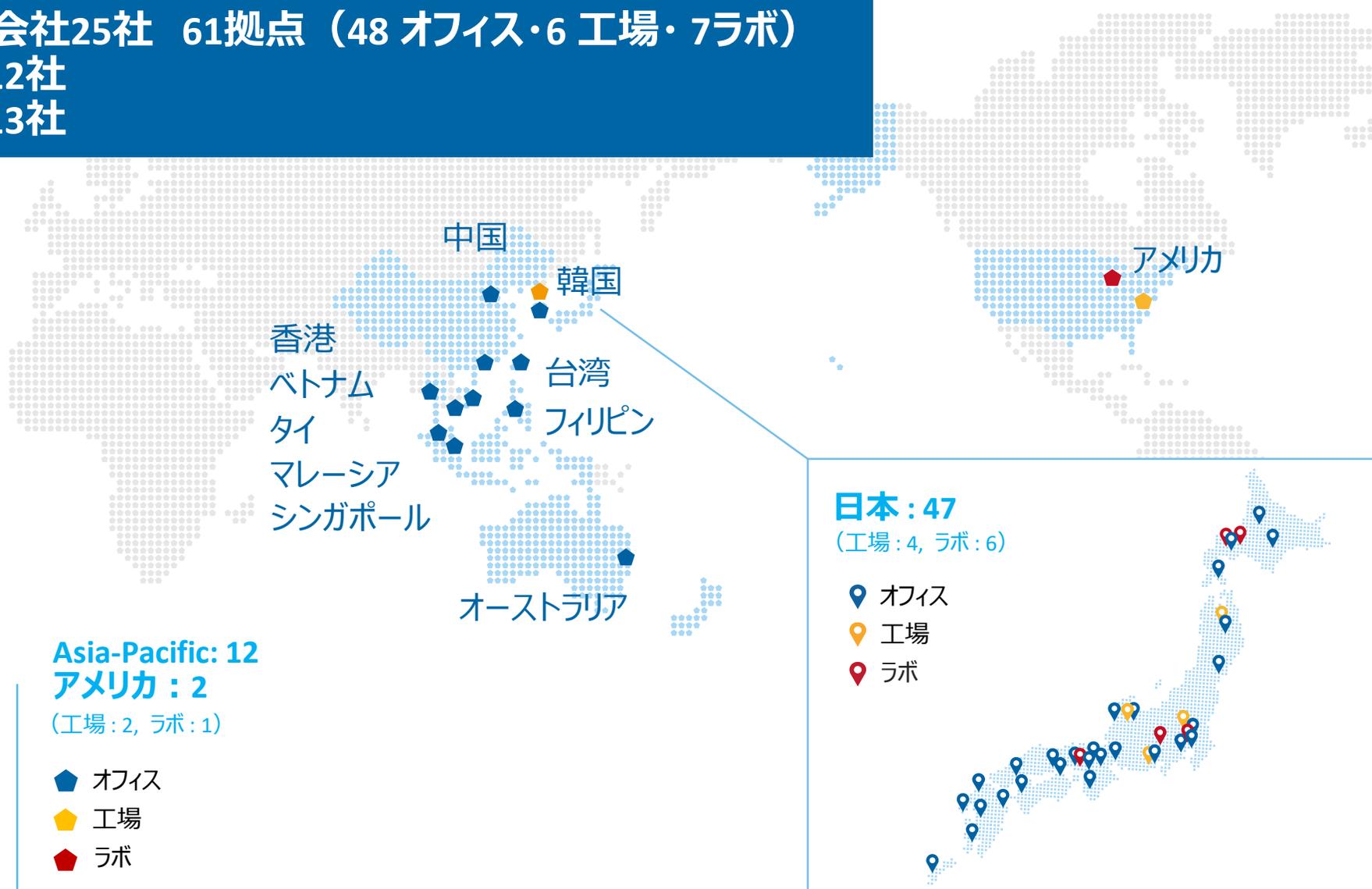


# グループ拠点展開



グループ会社25社 61拠点 (48 オフィス・6 工場・7ラボ)

国内 12社  
海外 13社



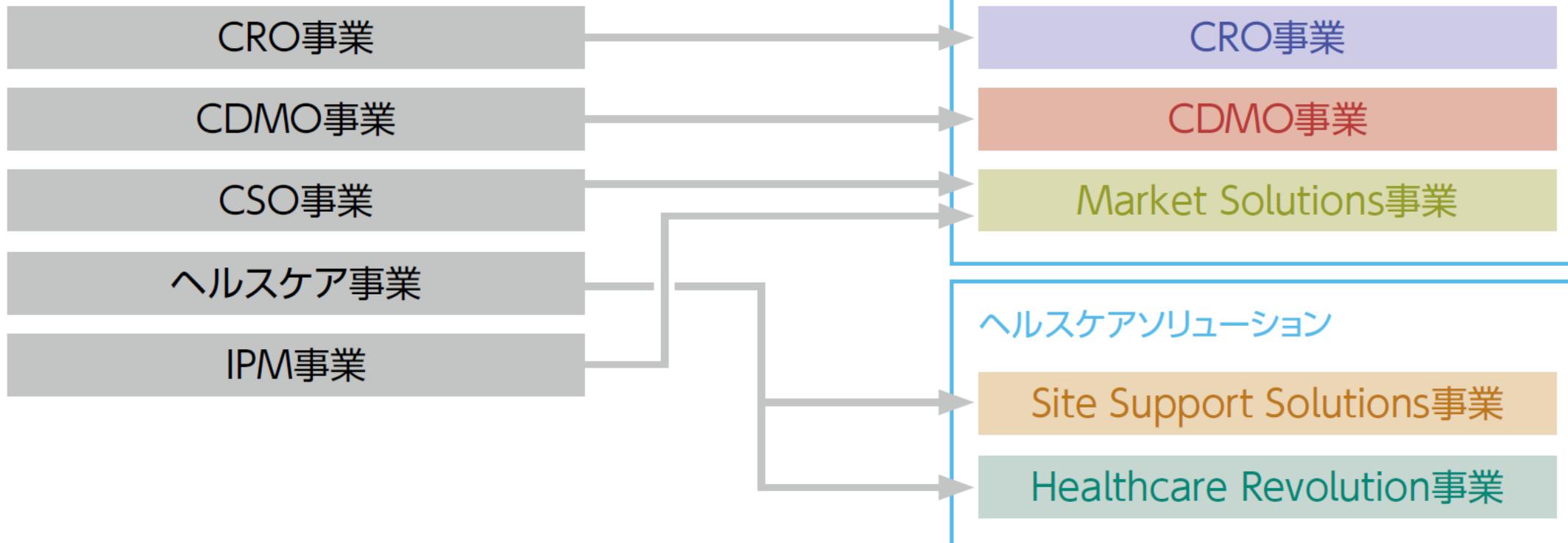
# 報告セグメントの変更



FY22より、PVCモデルを展開する「製薬ソリューション」と、医療機関・自治体等を通じて個人の健康に寄与する「ヘルスケアソリューション」の2つのセグメントに変更

新セグメント FY2022以降

旧セグメント FY2021



## ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで  
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた  
サステナブルな社会への貢献





## ヘルスケアビジネスの進展



- 自治体のコロナワクチン接種・PCR検査支援
  - 新型コロナワクチン接種情報管理システム 「harmoワクチンケア」の活用
  - コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）  
抗原検査キット販売
- 地方自治体との連携
  - 山梨県北杜市「harmoワクチンケア」導入による接種記録利用の市民サービス展開
  - 新潟県妙高市と新型コロナウイルス感染症対策と健康増進に係る包括連携協定を締結
  - 「harmoワクチンケア」アプリ、羊蹄山麓7町村で子供のワクチン誤接種防止に活用



## 疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- 医薬品・医療機器開発のスピード化・効率化の促進
  - Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT)  
促進と医薬品開発のスピードアップに向けたパートナーシップを締結
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援





## 社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献

- ▶ シミック、子育てサポート企業として「くるみん認定」を取得
- ▶ 第18回「日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）」の授与、  
第13回「国際児童絵画コンクール」の共催
- ▶ Rare Disease Day（世界希少・難治性疾患の日）活動支援



# 連結損益計算書（要約）



	FY2021/Q2		FY2022/Q2		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	38,645	100.0	<b>51,769</b>	100.0	+13,123	+34.0
営業利益	2,158	5.6	<b>5,743</b>	11.1	+3,584	+166.1
経常利益	2,368	6.1	<b>6,169</b>	11.9	+3,800	+160.5
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,222	3.2	<b>3,503</b>	6.8	+2,281	+186.6
1株当たり 四半期純利益	67円58銭		194円07銭			

【ウクライナ情勢の影響について】当第2四半期連結累計期間までの当社グループへの影響は軽微です。

# 営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



(百万円)

	FY2021/Q2	FY2022/Q2		FY2021/Q2	FY2022/Q2
営業外収益内訳	326	530	特別利益内訳	116	—
受取利息	1	1	債務免除益	116	—
為替差益	159	467			
持分法による投資利益	20	—	特別損失内訳	58	51
その他	145	61	固定資産除却損	25	43
			投資有価証券評価損	32	8
営業外費用内訳	116	104			
支払利息	64	74	法人税等	1,004	2,631
その他	52	29			
			非支配株主に帰属する四半期純損益	199	△17

# 報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2021/Q2 (百万円)	FY2022/Q2 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	33,566	<b>36,820</b>	+3,254	+9.7
	営業利益	2,686	<b>2,326</b>	△359	△13.4
ヘルスケアソリューション	売上高	5,348	<b>15,262</b>	+9,913	+185.4
	営業利益	152	<b>4,182</b>	+4,030	+2,650.4
調整額	売上高	△269	△ <b>314</b>	△44	-
	営業利益	△679	△ <b>765</b>	△86	-
合計	売上高	38,645	<b>51,769</b>	+13,123	+34.0
	営業利益	2,158	<b>5,743</b>	+3,584	+166.1

## \* 調整額

売上高は、報告セグメント間取引の内部消去であります。

営業利益は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社（持株会社）に係る費用であります。

# 受注高・受注残高



	FY2021/Q2		FY2022/Q2			
	受注高	受注残高	受注高	増減率	受注残高	増減率
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
製薬ソリューション	33,156	66,227	<b>44,327</b>	+33.7	<b>77,688</b>	+17.3
ヘルスケアソリューション	7,249	14,026	<b>15,334</b>	+111.5	<b>16,947</b>	+20.8
合計	40,405	80,254	<b>59,661</b>	+47.7	<b>94,636</b>	+17.9

# 売上構成比



FY2021 Q2

ヘルスケアソリューション

13.7%

売上高  
38,645百万円

製薬ソリューション

86.3%

営業利益 2,158百万円

営業利益率 5.6%

FY2022 Q2

ヘルスケアソリューション

29.3%

売上高  
51,769百万円

製薬ソリューション

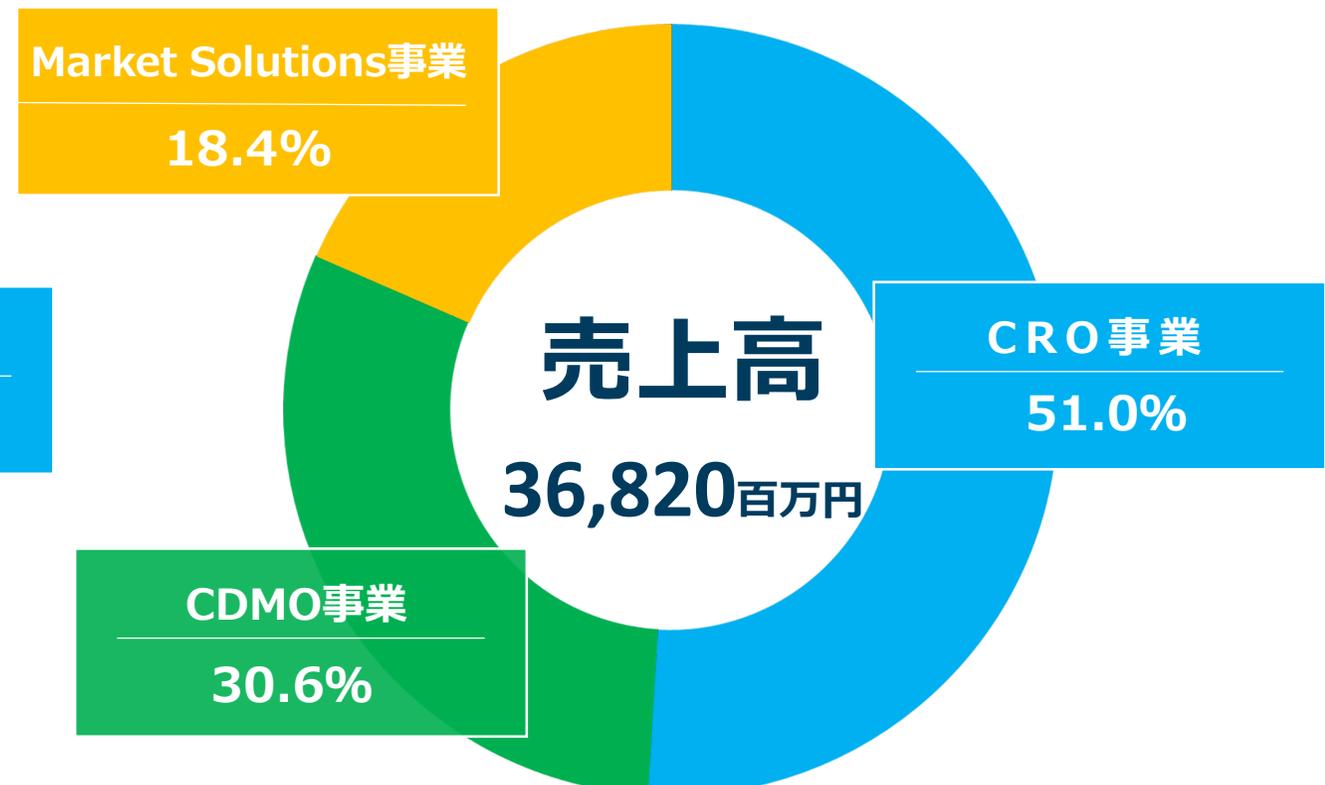
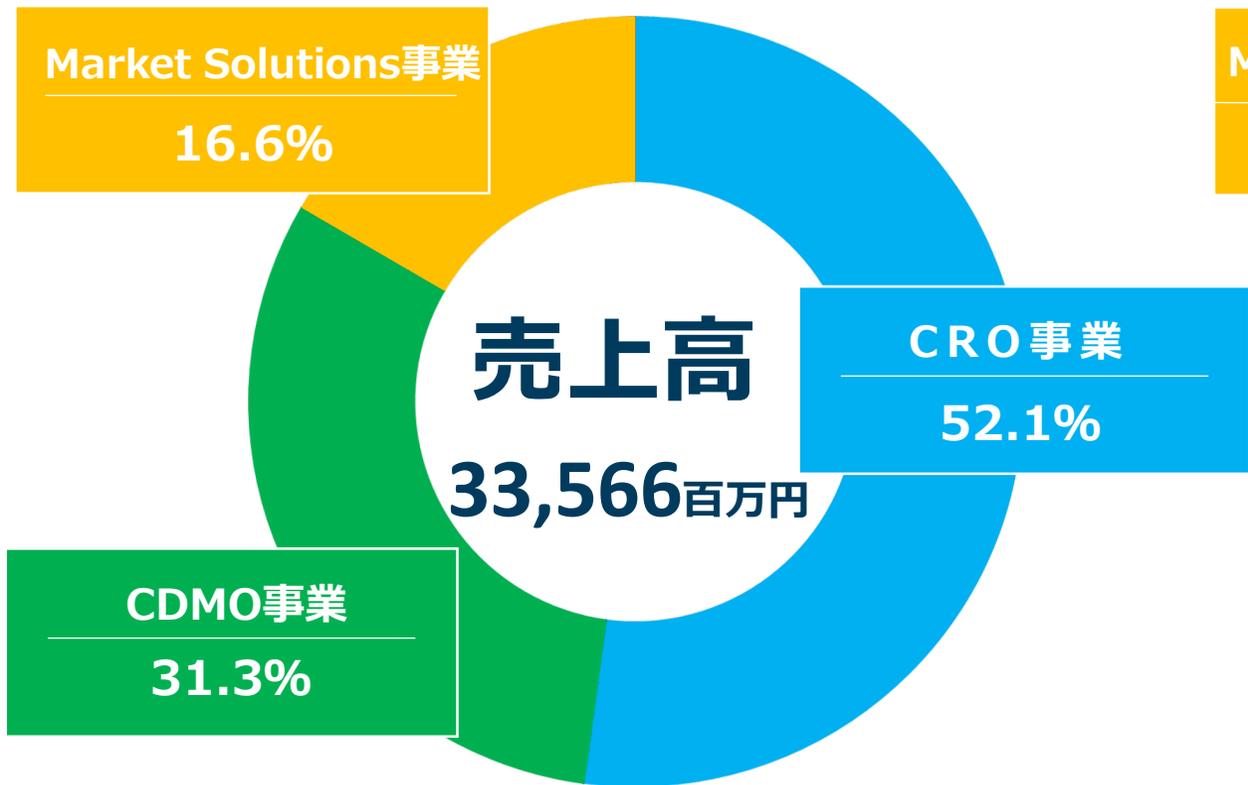
70.7%

営業利益 5,743百万円

営業利益率 11.1%

## FY2021 Q2

## FY2022 Q2



営業利益 2,686百万円

営業利益率 8.0%

営業利益 2,326百万円

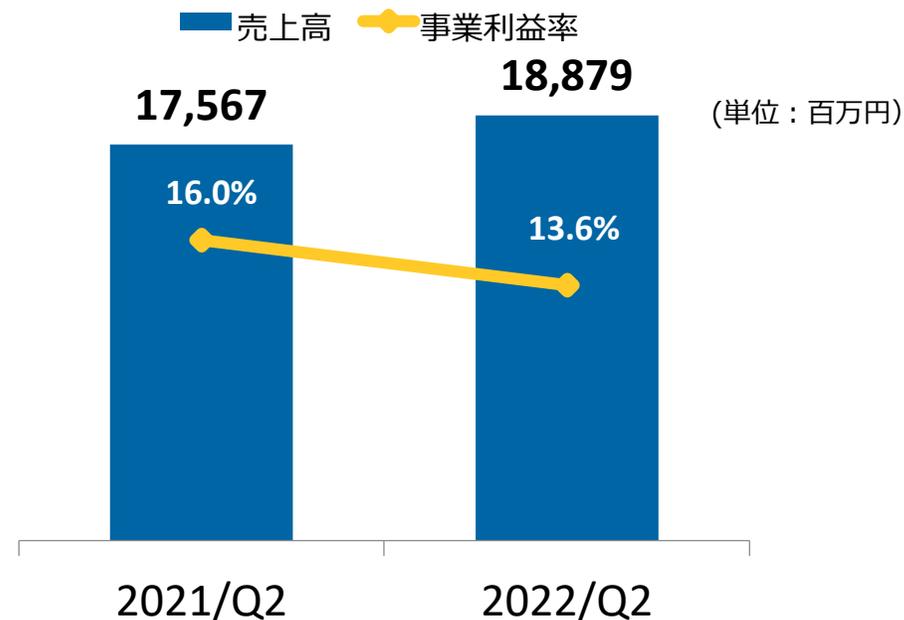
営業利益率 6.3%

# 事業セグメント — CRO事業 —

疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

## 事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 開発案件の引き合い増加
- Science 37®とDecentralized Clinical Trial (DCT) 促進と医薬品開発のスピードアップに向けパートナーシップを締結
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬など、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援



## 重点取組事項

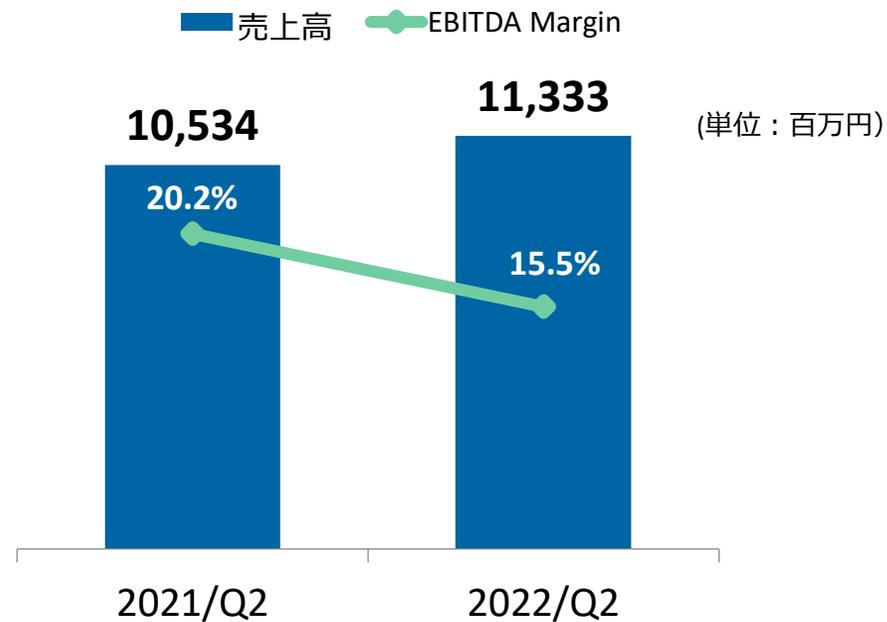
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化 (アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託 (アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

# 事業セグメント – CDMO事業 –

治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

## 事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- エネルギーコストが増加傾向
- 新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- 米国の新規案件獲得に注力



※ 事業利益率 2.6%

(マイナス)

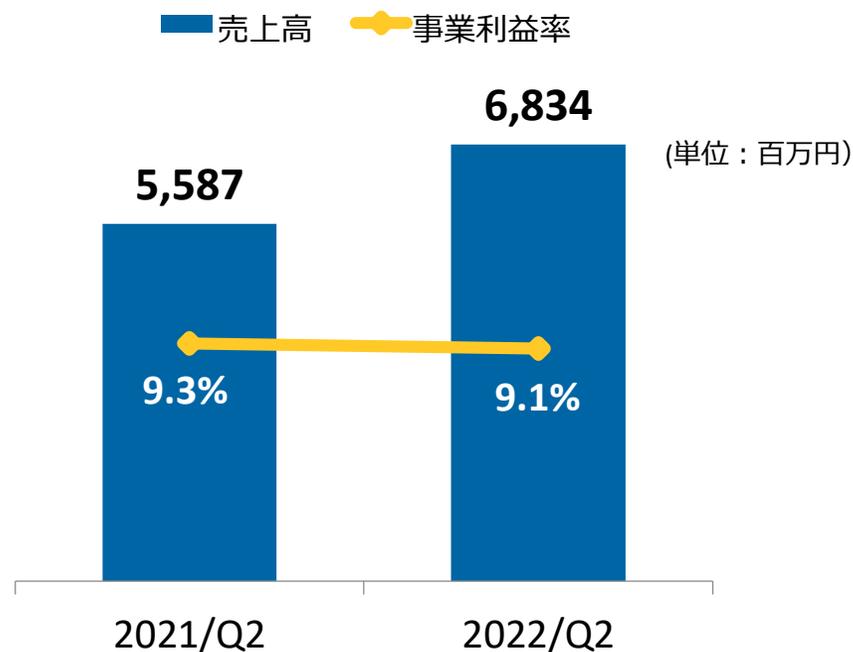
## 重点取組事項

- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開  
(マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

## 事業概況

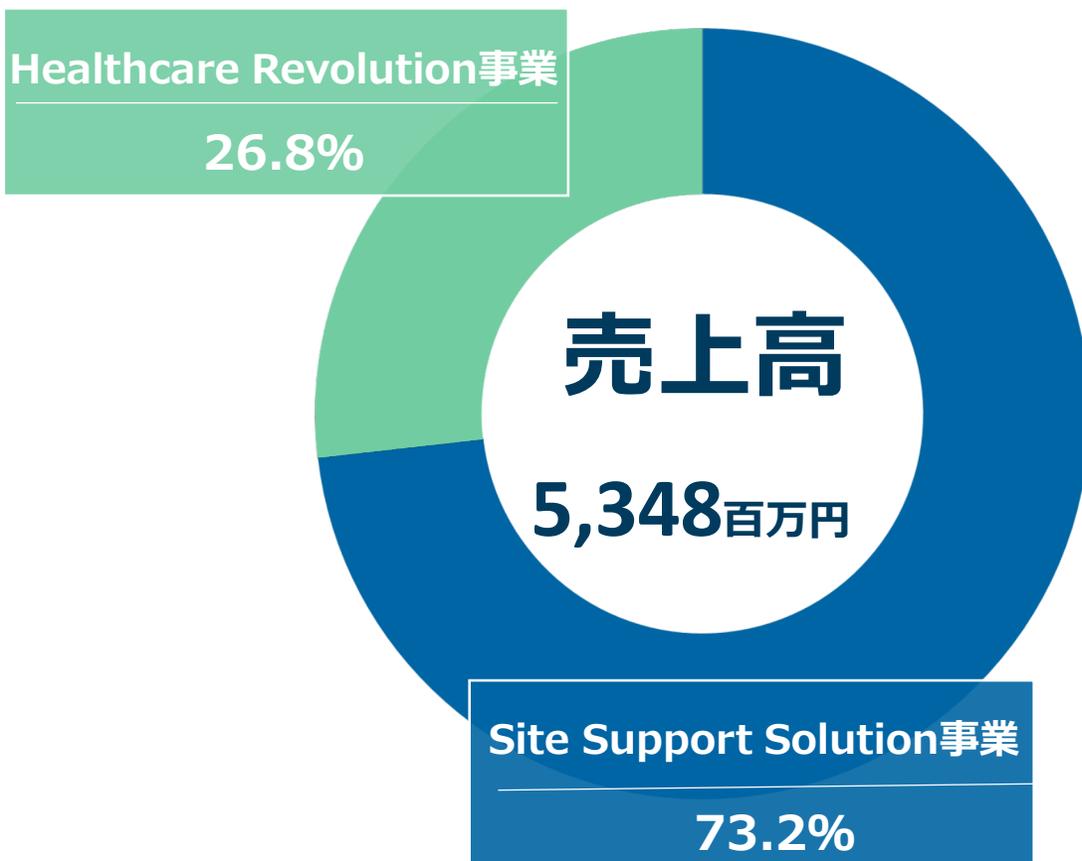
- 売上高は前年同期を上回る
- MR派遣業務において新規案件の獲得と既存案件が順調に進捗



## 重点取組事項

- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッドサービスの提供
- マルチチャネルの促進
- 新規オーファンドラッグの開発
- 海外製薬企業の日本市場進出支援

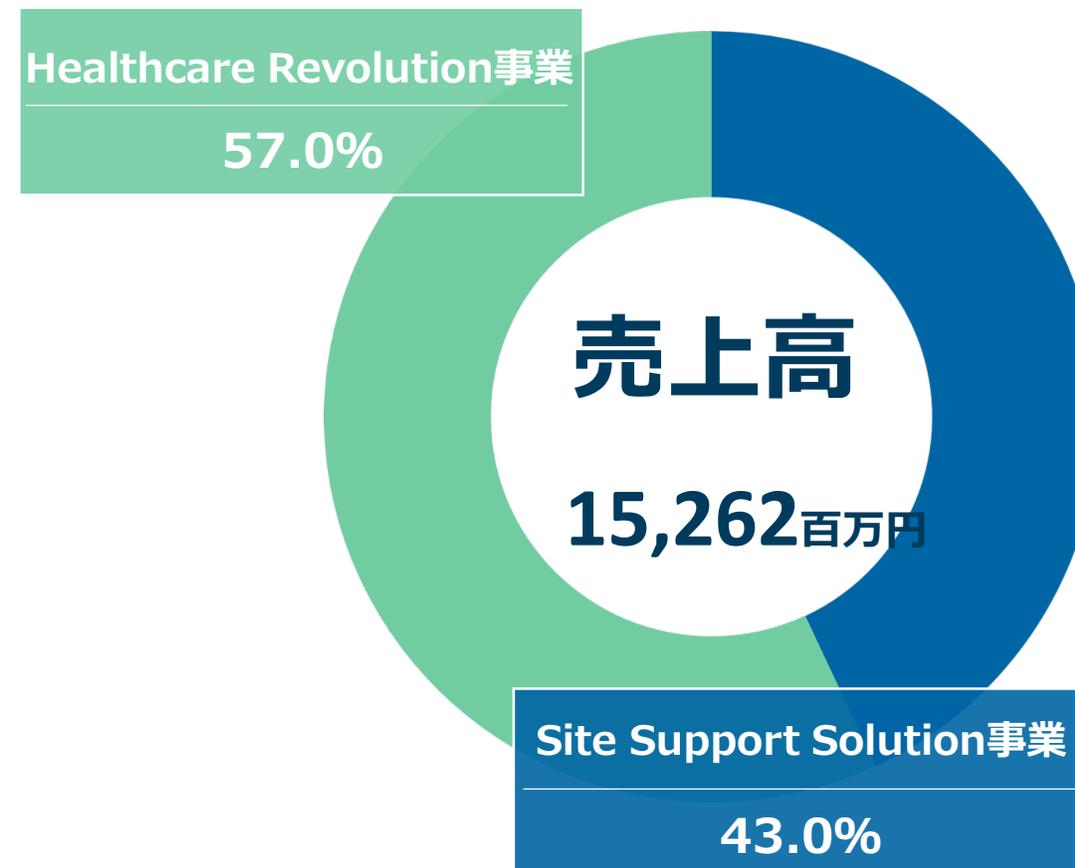
## FY2021 Q2



営業利益 152百万円

営業利益率 2.8%

## FY2022 Q2



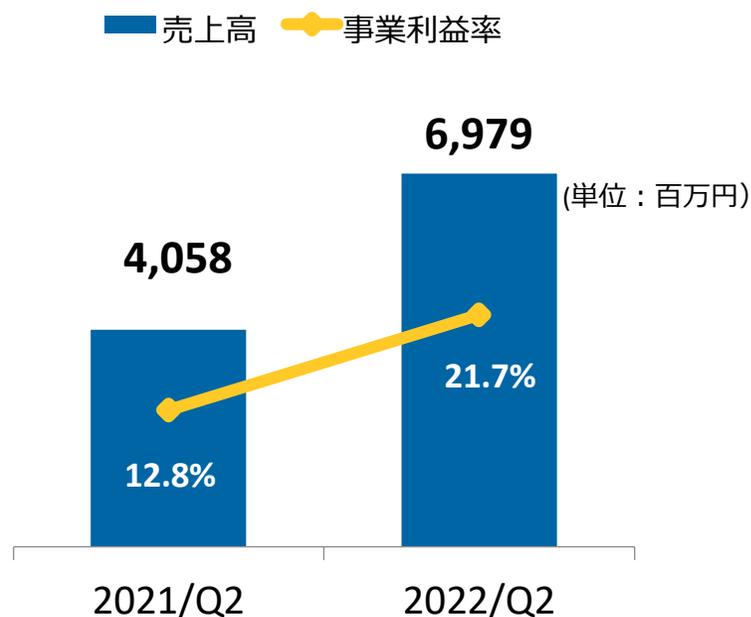
営業利益 4,182百万円

営業利益率 27.4%

## 医療関連施設および医療従事者を総合的に支援する事業

### 事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン及び治療薬等開発、コールセンター案件の増加
- 臨床試験（研究）をはじめとする医療機関向け支援ニーズも拡大
- アカデミアとの連携を促進



### 重点取組事項

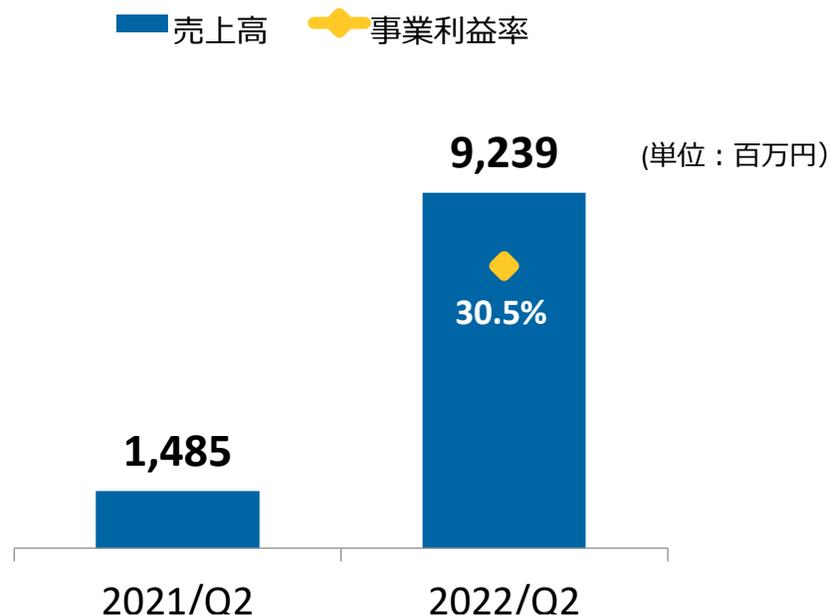
- 治療から予防・予後マーケットへの展開（予防治療薬やアプリ治験）
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

# 事業セグメント –Healthcare Revolution事業–

個人および自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

## 事業概況

- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種支援業務等が大幅に増加
- 疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
- 地方自治体との連携を促進
- Healthcare Communication Channelとしてharmo®のPHR等への活用推進



## 重点取組事項

- harmoを使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開
- ヘルスケア人財の育成、確保

# 連結貸借対照表（資産の部）

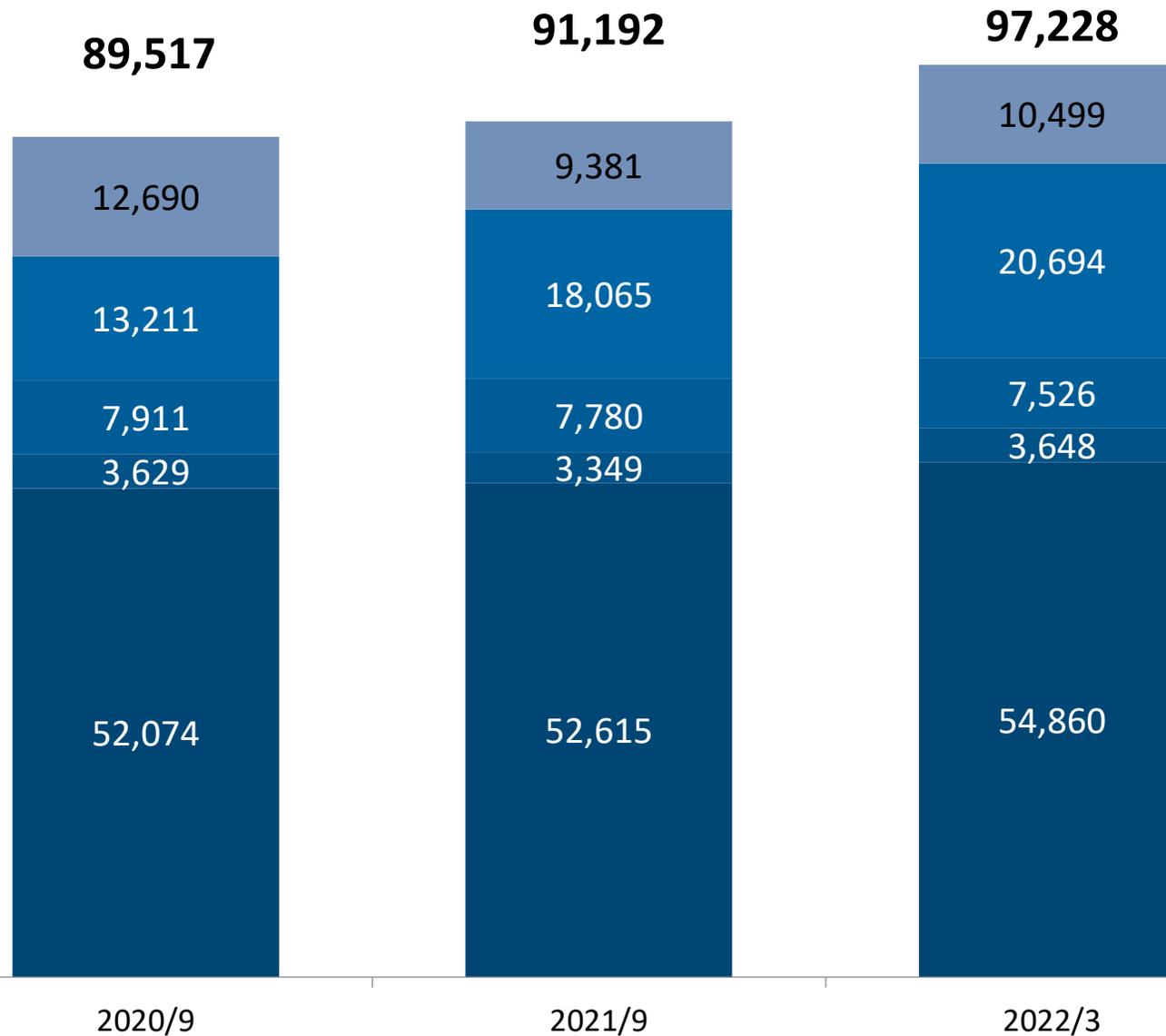


(百万円)

100,000

50,000

0



総資産	+6,035
現金	+1,117
売上債権	+2,629
棚卸資産	△254
その他流動資産	+298
固定資産	+2,244

# 連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）

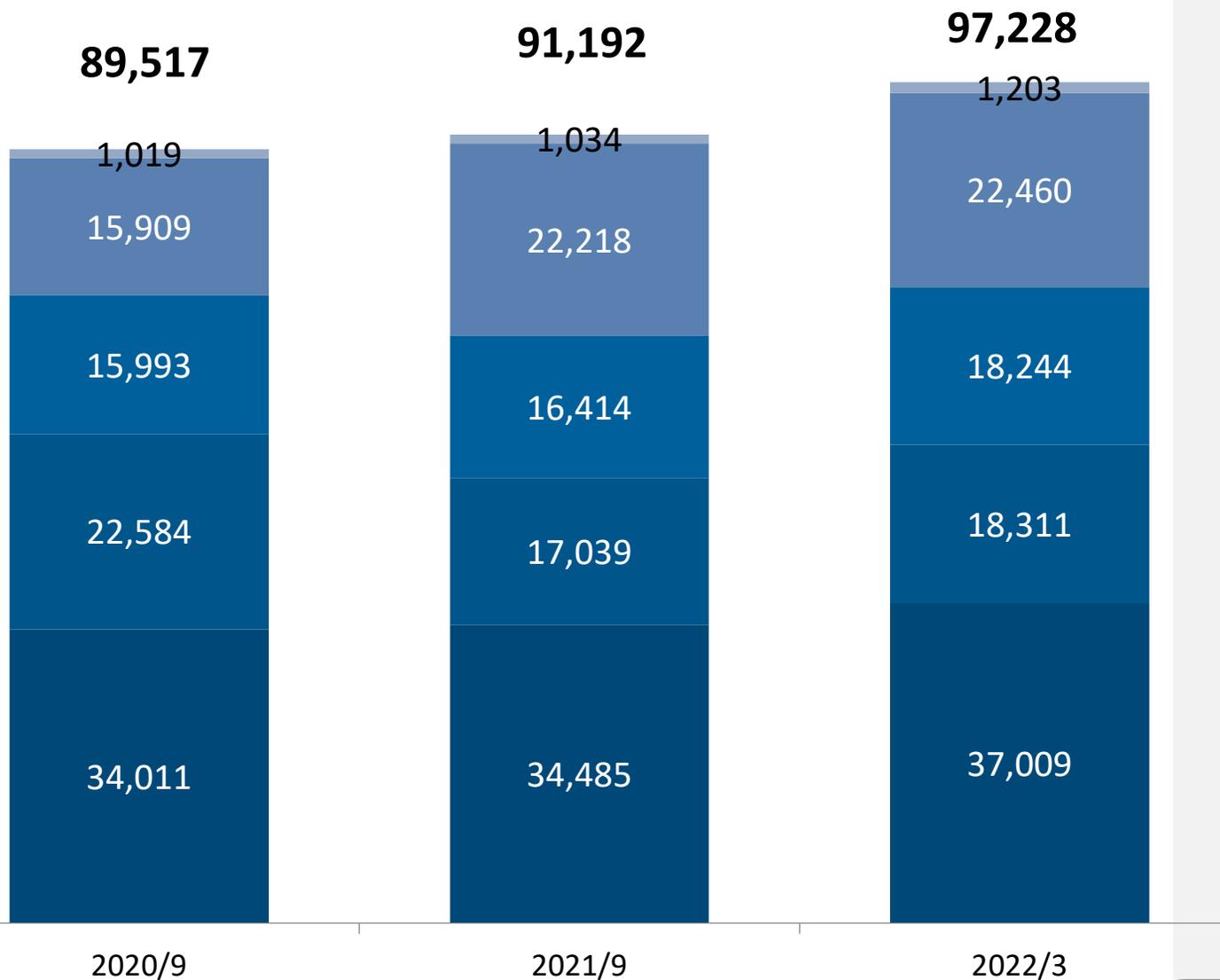


(百万円)

100,000

50,000

0



仕入債務	+168
その他流動負債	+242
その他固定負債	+1,829
有利子負債 (リース債務を除く)	+1,271
純資産	+2,523

# キャッシュ・フロー



	2021/3	2022/3	(百万円) 増 減	
営業活動によるCF	2,089	4,011	+1,921	【主な内訳】 (営業活動によるCF) ・税金等調整前四半期純利益の計上による資金増加等
投資活動によるCF	△2,730	△3,682	△951	(投資活動によるCF) ・CDMO事業における有形固定資産の取得による支出等
財務活動によるCF	△1,412	906	+2,318	(財務活動によるCF) ・借入金収入による資金増加等
現金及び現金同等物に係る換算差額	△47	△278	△231	
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,100	956	+3,056	
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	60	+58	
現金及び現金同等物の期首残高	12,688	9,379	△3,308	
現金及び現金同等物の期末残高	10,589	10,395	△193	



# 2022年9月期 業績見通し





## コロナウイルス感染症関連

- 治療薬及びワクチン開発案件は継続
- 大規模なワクチン接種案件が減少する見通し



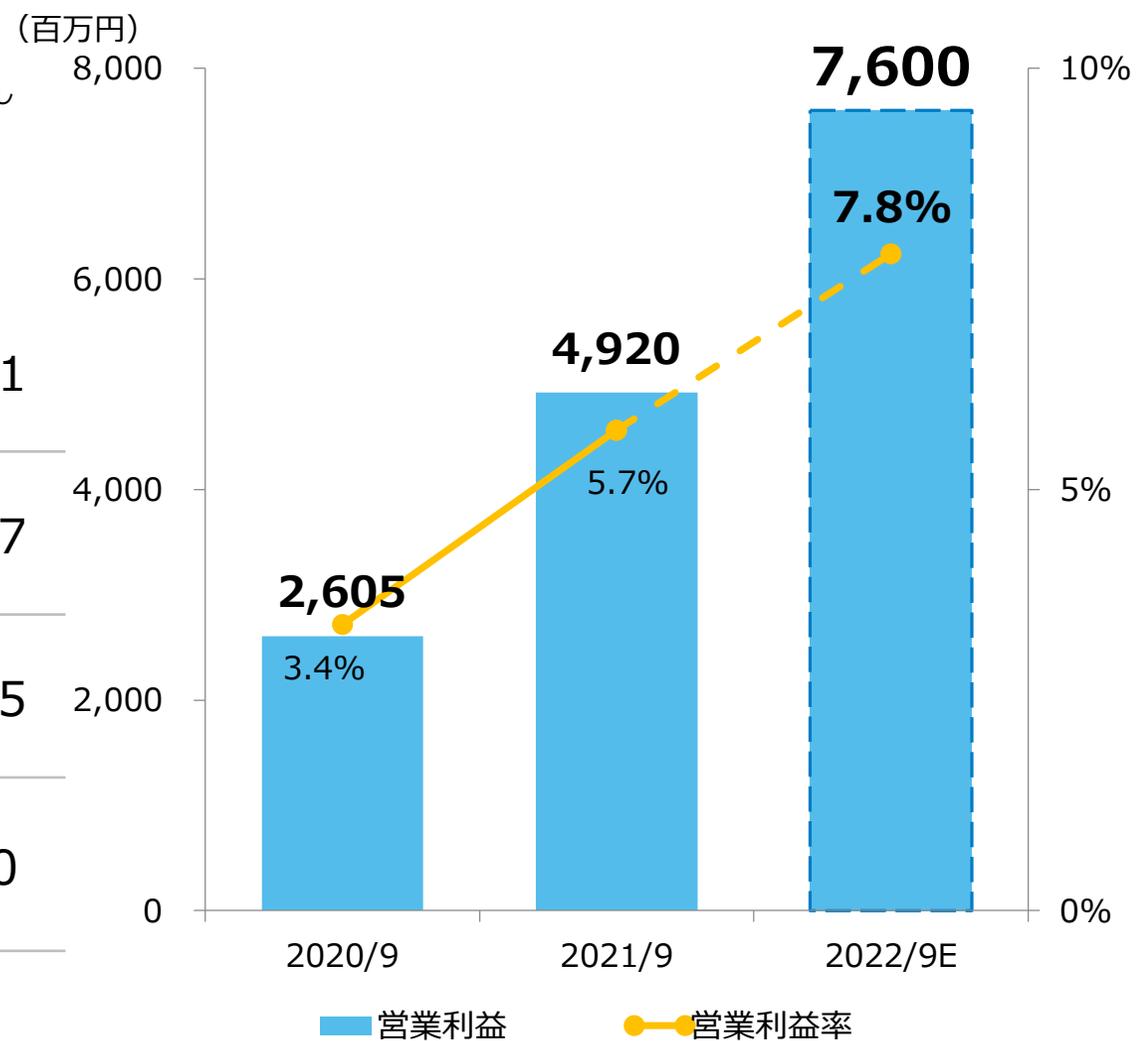
## ロシア・ウクライナ情勢

- ロシア・ウクライナにグループ拠点なし
- 受託案件への影響
  - ・ ロシア・ウクライナにおける臨床試験の中止、延期
  - ・ 物流の混乱による原材料や医療機器等の資材調達の遅延 など
- エネルギーや物流コストの上昇による利益への影響

# 2022年9月期 通期見通し



	2021/9 実績 (百万円)	2022/9 修正見通し (2022/1/31) (百万円)	2022/9 修正見通し (百万円)	対修正見通し 増減率 (%)
売上高	85,788	95,000	<b>97,000</b>	2.1
営業利益	4,920	6,000	<b>7,600</b>	26.7
経常利益	5,091	5,800	<b>7,800</b>	34.5
親会社株主に帰属 する当期 純利益	2,023	3,000	<b>3,900</b>	30.0
1株当たり 当期純利益	111円85銭	165円82銭	<b>217円30銭</b>	





## 本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

